

トリニティ島ミケルセン・ハーバーのダイノー島

南緯63度54分、西経60度47分

主な特徴

- ジェンツーペンギン
- 捕鯨の人工遺物
- アルゼンチン避難小屋



概要

地形	ダイノー島は、小規模で、ほとんど平坦で岩の多い島である（1km ² 以下）。本島は幅3kmの湾であるミケルセン・ハーバー内に位置し、氷崖が多く、トリニティ島の南側はSkottsbergとBorge Pointの間で湾入されている。島は、しばしばシーズンの終わりまで雪で覆われており、島の周辺の海域には多数の浅い暗礁がある。
動物相	繁殖が確認されている種：ジェンツーペンギン (<i>Pygoscelis papua</i>)、サヤハシチドリ (<i>Chionis alba</i>)、オオトウゾクカモメ (<i>Catharacta</i> spp.)、ミナミオオセグロカモメ (<i>Larus dominicanus</i>)、ナンキョクアジサシ (<i>Sterna vittata</i>)、ウェッデルアザラシ (<i>Leptonychotes weddellii</i>) とナンキョクオットセイ (<i>Arctocephalus gazella</i>) がしばしば上陸する。カニクイアザラシ (<i>Lobodon carcinophagus</i>) とヒョウアザラシ (<i>Hydrurga leptonyx</i>) が定期的に近くで見られる。
植物相	氷雪藻が、夏の終わりに広範囲に広がることもある。コケ類 (<i>Moss</i> spp.)、ナンキョクカワノリ緑藻 (<i>Prasiola crispa</i>)、オオロウソクゴケ種 (<i>Xanthoria</i> spp.)、ダイダイゴケ種 (<i>Caloplaca</i> spp.)、アナイボゴケ種 (<i>Verrucaria</i> spp.) が記録されている。
その他	本島には、アルゼンチンの小さな避難小屋がある。さらに、多数のクジラの骨と捕鯨業者の給水舟が、島の北東の海岸にある。

訪問者の影響

既知の影響	なし。
潜在的影響	野生生物のかく乱。歴史的遺物へのかく乱。

上陸要件

船舶*	乗客500人以下の船舶*（以下の訪問者の制限に注意すること）。一度に1隻の船舶に限る。1日あたり（午前0時から翌午前0時まで）3隻の船舶までで、そのうち乗客が201~500人であるのは2隻までである。
訪問者	探検ガイドとリーダーを除き、常に上陸は一度に100人以内。

訪問者用地区

上陸地区	勧められる上陸地点は、クジラの骨と給水舟がある地点の近くの北東の海岸である。潮と雪の状態が出入り可能であれば、島の周りで他にも上陸可能な地点はいくつかある。もし第1次上陸地点で上陸ができなければ、ペンギンの繁殖地域から離れた上陸地点を注意深く選択すること。
閉鎖地区	なし。
ガイド付き徒歩地区	なし。
自由散策地区	歴史的遺物の近くに注意しつつ、訪問者は、自由に島中を散策することができる。

訪問者の行動規範

上陸後の行動	ゆっくりと注意して歩くこと。野生生物から5mの距離を維持し、動物に先行権を与えること。もし行動に何らかの変化が見られる場合は、この距離は長くなる。ペンギンが利用する深い雪の通り道を歩くことは避けること。歴史的遺物に干渉しないように注意すること。避難小屋は、緊急時を除いて入らないこととする。
注意事項	ボートの操縦者は、上陸する海岸まで浅く岩の多い進路に注意すること。

* ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。

トリニティ島ミケルセン・ハーバーのダイノー島

南緯63度54分、西経60度47分

